

第5回検討委員会における意見の整理

第5回委員会では「各論（資金・人材・場）」をテーマに審議をした。

委員が活動の中で把握した課題、審議テーマに関する各委員の意見などを次のとおり整理した。

【資金に関する意見】

- ① 資金を NPO や社会起業家に提供するだけでなく、どのようにして社会にインパクト（影響、効果）を与えるのか視点が大切。成果志向を取り入れて NPO や社会起業家と行政の協働で政策に反映させるような取組が重要ではないか。
- ② 企業や市民からの寄付を NPO などの団体につなげる立場から見ると、その顧客は寄付者であり、NPO や社会起業家は社会を変えるためのパートナーだと捉えられる。
- ③ 単に資金を提供するだけでなく、NPO や市民活動団体の中に行政や事業者なども入って具体的な事業を一緒につくっていったり、地域で活動している人と課題から一緒に考えて資金を提供したりすることが必要

【場に関する意見】

- ④ 川崎市は人の出入りが多いので、新たに川崎市民になった人にどうやって参加してもらうか、新しい人が参画する場や地域の為に何かしたい、また逆に興味がない人たちに、どういう風にきっかけとなる場が提供できるのが課題
- ⑤ 市民活動団体も同じような活動している他の団体とのつながりの場を求めている。お互いの活動を見て学び合うことが必要
- ⑥ つながりや交流のための場は対象によってきめ細かく対応する必要がある。活動したいと思っている人のための場と既に活動している人同士の交流の場、活動に課題を抱えている団体を支援する場と同じような活動をしている他の団体との交流の場それぞれ内容が違う。

【人材に関する意見】

- ⑦ 普通の人々が公共を支える仕組みが必要。NPO や社会起業家は「点」の活動をしているが、大きな社会課題に対しては「面」で取り組む必要がある。そのためには一

人ひとりのシチズンシップを掘り起こすことが必要。そのためには、キャリア教育や総合学習などで、寄付やまちづくりなど市民学習を取り入れることが将来につながるのではないか。

- ⑧ 若い人は必要とされたいと思っているが、声をかけられる機会を待っている面がある。市民活動に関心がない人でも、自分の経験や技術を何かに役立てたいと思っている人はいる。そういった人とその経験や技術を必要としている市民活動団体につなげるために、NPO 等の参加してもらいたい側からの情報提供+αのきっかけづくりをまめに行うことなどの取組が大切
- ⑨ 地域人材の発掘にはいろいろな会合に参加して声掛けをすることが必要。活動する側が楽しんで取り組んでいけば仲間に入る人が出てきて、それがコミュニティにもなる。また、町内会・自治会など狭い範囲でも交流が求められているおり、地域にどのような人材がいるのかが分かる仕組みが必要

【資金・場・人材の関連に関する意見】

- ⑩ 資金・場・人材は、根底には人のつながりと言う意味で関連している。「場」があることで「人」が集まり、地域課題の解決につながっていく。また、顔が見える「場」で地域の「人」が活動をすることと地域を支える「資金」を地域で集めることは密接に関係している。